

西牧大使による第1回西カバンゴ州小規模園芸生産者会議への出席
(令和6年11月21日)

2024/11/21

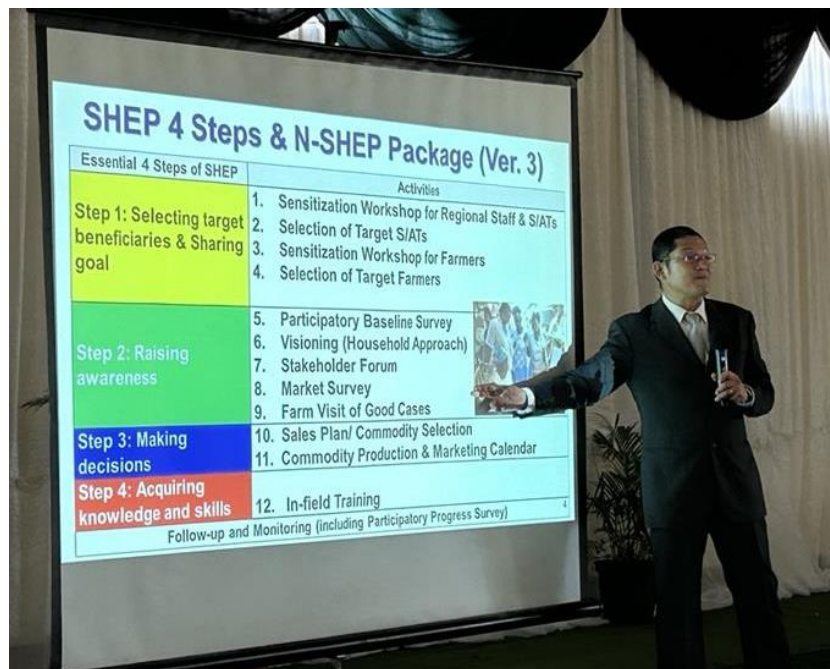
令和6年11月21日、アウシク (Hon. Sirkka Ausiku) 西カバンゴ州知事より招待を受けた西牧大使は、「西カバンゴ州の緑化へ。自給自足から商業農業への園芸セクターの転換。」というテーマで開催された小規模園芸生産者会議に出席しました。本イニシアティブは、農家が同州の農業の可能性を強化し、多角化や加工への進出を図る方法を模索するための情報共有の場を設けることを目的としており、招待された多くの関係者や専門家が一般の農民と重要な情報共有を行いました。アウシク知事は、「西カバンゴ州は、長年にわたる日本大使館とのコラボレーションとパートナーシップにより、同州の脆弱なコミュニティの生活の向上に貢献するインパクトのあるプロジェクトが実現したことを高く評価している。」と述べました。



(前列) 西牧大使、シニンボ産業化・貿易副大臣、アウシク西カバンゴ州知事、離 FAO 代表
(後列) イベント関係および登壇した専門家



挨拶を行う西牧大使



JICA が技術協力で実施中の「北部ナミビア小規模農家生計向上プロジェクト（N-SHEP）」について、発表する
丹羽克介 JICA 専門家・チーフアドバイザー。



日本政府と FAO が実施したプロジェクトで裨益した
農家が生産したリンゴを購入する難 FAO 代表と西牧大使



農産物を展示・販売する農家



会場の様子（西カバンゴ州全体から 200 名以上の農家が参加した）